



梅雨明けはもうすぐでしょう。さて、令和6年度の1学期が終わりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の1学期の教育活動に多大なるご協力とご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。PTA 総会、授業参観、懇談会を通じて、子どもの様子を共有できたでしょうか。

明日から学校は夏休みに入ります。部活動、登校日等で子どもたちが登校する機会がありますが、普段のような子どもたちの声が、しばらく学校内で聞くことができないのは少々さびしいです。子どもたちは、家庭において、地域において、学校生活では味わえないような体験をたくさんしてほしいです。自分の時間を、自分で計画的に使っていくのもよい体験の一つだと思います。よい時間の使い方ができるよう、家庭で支えてあげてください。

元気で、安全に、夏休みを過ごしましょう。次に会うときは、元気なあいさつ、大きなリアクションの手ぶりあいさつをしましょうね。

交通安全教室

奈良県警察本部と吉野警察署から来校していただき、交通安全について教えてくれました。吉野町では、1年間で約200件の交通事故が起きていること。4月、金曜日に事故が多いことをクイズ形式で教えてもらった後、交通ルールの確認、夏休みに気をつけてほしいことを私たちに語りかけてくれました。小学校高学年と中学生は、自転車の乗り方の実地訓練をしてもらいました。ありがとうございました。

吉野町では、交通安全母の会の方々、地域の方々も皆さんの安全を見守ってくださっています。

小学校児童集会

児童会が中心になって、全校100問クイズ大会を開催しました。100問もの問題をつくり、小学校棟内に配置する。縦割り班を18班作り、問題がどこにあるか捜して問題を解く。壮大なイベントでした。みんな協力し合って楽しそうに歩いている姿が本当に微笑ましかったです。集会を企画してくれてありがとう。

灯笼づくり (6年生・アート部)

7月27日(土)午後7時過ぎから、上市の吉野川河原で灯笼流しが行われます。今年も灯笼の制作依頼が学校に届き、小学校6年生と中学校アート部が灯笼を制作しました。絵画やイラスト、言葉などを4面ある制作部分にちりばめ、見栄えの良い灯笼が完成しました。子どもたちの平和、希望などのメッセージが添えられた灯笼。吉野の夏の風景に彩りを添えることでしょうね。

ゲストティーチャー(職場体験)

2学期の職場体験に向けて社会人の方をお招きし、中2のみなさんに仕事について、働くことの意味について、普段から大切にしていることなどを話していただきました。働くとはどういうことか、職場体験へのイメージを持てたことでしょうか。

今年、職場体験を受け入れてくださる事業所の一覧は、2階廊下に掲示してあります。どんな仕事内容か、どんな心がけが必要か確かめましょう。

中学校生徒集会

体育委員会主催で、クラス対抗ドッジボール大会が開催されました。中学生らしき満載の大会になりました。楽しい企画をありがとう。

うなりをあげるボール。柔らかな軌道を描くボール。など、体力と頭脳をフル活用した作戦。逃げる、キャッチするといった一瞬の判断。白熱した試合展開に、応援の声もヒートアップしました。

大そうじ・草刈り

日時は違いましたが、小学校、中学校ともに先週末に大そうじをしました。自分から汚れを見つけ、自分の力を出して掃除できたでしょうか。人が生活していると、どうしても汚れが出ます。毎日の掃除では十分にきれいにできないところなどをきれいにしました。「そうじは心。心をみがく」ぞうきんを手に、膝をついて、なくしたい汚れをしっかりと見つめて床をみがいている人が印象的でした。

7月20日、21日には、吉野町シルバー人材センターの方々が、校舎周辺の草刈りをしていただきます。

● 私事ですが、6月10日に椎間板ヘルニアを再発させてしまいました。6月21日の診察で、腰に神経ブロック注射を打つことに決めました。約20年前に神経ブロック注射を腰に打ったことがあります。そのときの痛みがトラウマになっており、今回の神経ブロック注射を打つ直前まで不安でいっぱいでした。

局所麻酔のあと注射針が腰に刺さり、「痛み止め入れますね。」の先生の声。覚悟を決めて、顔をしかめて唇をかみしめたその瞬間、「おわりました。」の声。「えっ？」痛みはほとんどありませんでした。

20年間の医学の進歩に驚きです。神経ブロック注射は痛みがないだなんて思ってもみませんでした。

みんな、大きな夢を持ちましょう。こんな社会だったらいいなと考えてみましょう。20年後には、その夢が、その理想が、現実のものとなっているかもしれませんよ。